

## 芽室町から未来につなぐ 笑顔いっぱいの農業

小山 勉 さん (こやま つとむ)  
 株式会社 なまら十勝野 代表取締役

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しく北海道」運動第9回コンクールで奨励賞を受賞した「株式会社なまら十勝野」代表取締役の小山 勉さんにお話をお伺いしました。

### 《なまら～農業そしてなまら～仲間》

芽室町は十勝平野の中西部に位置し、気候は内陸性、晴天日数が多く、夏と冬の寒暖差が大きいのが特徴です。基幹産業は農業で、主に小麦、馬鈴薯<sup>ばれいしょ</sup>、豆類、てん菜などの一大産地です。

「なまら十勝野」は2007年に任意団体として4人で活動を始め、スーパーなどの地場産野菜コーナーで自分たちが作った野菜を販売しました。また、農業情勢や国の政策の転換時期もあり、この先の農業がどうなっていくのか不安に思い、生産、販売、流通をもとに改めて農業経営の安定化を考えるため、全道の農家へ視察に行ったり、何度も勉強会を行いました。そして2016年、農業に対する想いや理念を再度確認し、仲間同士一緒にやっっていこうという決意のもと、13軒の農家で「株式会社なまら十勝野」を設立しました。

現在は19軒、役員5名、社員2名、パート1名で活動しています。年間計画を立てて各農家が連携しリレー形式で野菜を作り、加工場へ出荷しています。その他、道内外のスーパーや個人の飲食店と取引しており、生産している野菜は30品目になります。



越冬じゃがいもの袋詰め作業

※JGAP (Japan Good Agricultural Practices (日本の良い農業の取り組み)) の略適切な農場管理の基準を満たした農場や団体に与えられる第三者機関による審査認証制度。



### 《安心・安全・美味しいを当たり前》

自分たちで発信し、購入者の方々に直接畑に来てもらい五感で感じてくれれば安心につながります。また、独自の基準での栽培・土壌分析・食品分析の勉強会を行い、全員JGAP<sup>\*</sup>の取得を目指すことで安全につながります。このような意識を持ち生産した自慢の野菜を提供できることが美味しさにつながると信じ、現場からできることをやり続けています。

### 《チーム活動》

どの農家も家族経営において女性(奥様)の支えがあってこそ成り立つので、女性たちにもどんどん表舞台で活躍してほしいという想いがあります。情報発信、食育、販売、観光、食品加工などチーム分けをし、それぞれ自分たちの得意分野を生かし女性たちにも参加してもらっており、協力しながら地域のイベントにも積極的に参加しています。

組織(仲間)で活動することで、たくさんのアイデアや情報が生まれ、お互いに切磋琢磨し持続可能な農業を行うことが次世代にもつながると考えています。地域に根ざしている組織を目指し、応援してもらえる農業をこれからも続けていきます。今年はさつまいも作りにもチャレンジしています。



当協会ホームページ、「わが村は美しく北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子『生産空間の活性化に資する地域事例集』をご覧ください。

